



TITLE:

六月の星の空

AUTHOR(S):

CITATION:

六月の星の空. 天界 1928, 8(87): 286-288

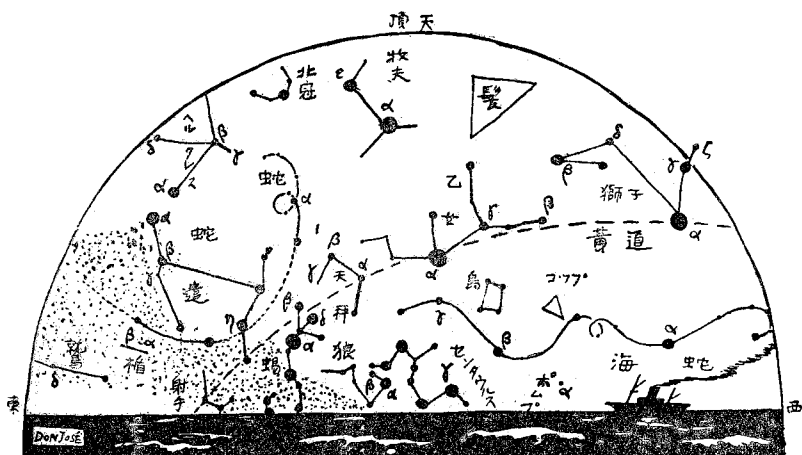
ISSUE DATE:

1928-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161300>

RIGHT:



六月の星の空(北天)

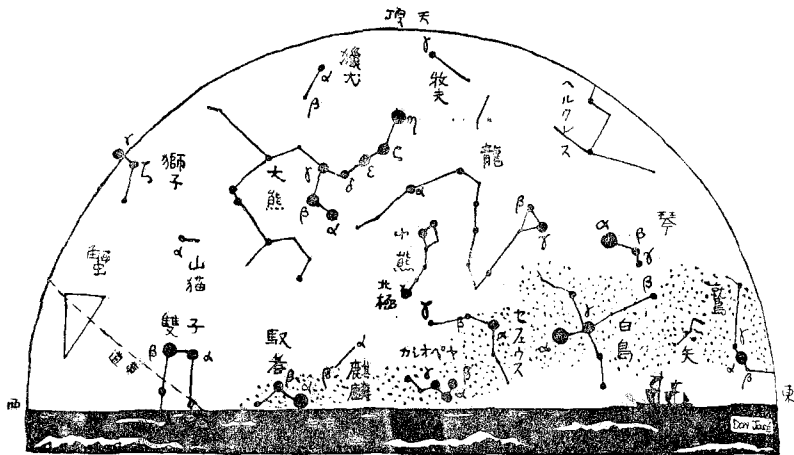
恒星界

北斗七星は高く位し、天頂には牧夫が來てゐる。北極星を取り圍んで大熊、龍、セフェア、カシオペア、麒麟、駁者などの星座が並び、天の川が東の地平線に僅か見え始めてゐる。南方にはまだ春の星座獅子、乙女、海蛇等が居残つてはゐるが既に蛇遣、蝸、七夕の琴と鷺、白鳥等が現はれて初夏の感を強める。

五月雨に妨げられて、今月は十分星の美を味ふ事の出来ぬのは残念であるが、月始めに宵の西天に水星を見るのを、蛇遣座の土星とは見逃し度くない好位置にある。殊に土星は地球に甚だ接近してゐる事と、環の傾が最大となつてゐる事で、小望遠鏡でも十分其の美を味ふ事が出来る。

3日の月蝕は午後7時18分に始まり、皆既蝕午後8時31分より9時48分まで、蝕の終り11時2分である。此の外18日に日蝕あるも日本から見えない。

かつて非常に明るい彗星として興味をひいたスケララップ彗星の軌道近くを地球が今月上旬に通過する筈であるから、其の頃流星雨があるかも知れない。輻射點の位置は赤経30度、北緯33度で大體三角座β星の近傍である、従つて早朝でなければ見られないし、且つ月が満月の直ぐ後であるから観測は困難かも知れぬが、會員諸氏の御注意あらん事を希望する。



六月の星の空（南天）

太陽系

太陽. 月半ば過ぎまで双子座, 21日より巨蟹宮に侵入する. 星座は中旬まで牡牛座座, 下旬には双子座. 18日に部分日蝕あるも日本では見えぬ.

月. 満月 3日午後9時13分 新月 18日午前5時42分

下弦 11日午後2時51分 上弦 25日午前7時47分

遠地点通過 { 1日夕暮 近地点通過 16日夜
29日早朝 月蝕 3日午後7時18分

水星. 3日東方最大離角(23度), 其の頃光度は0等, 視直径は18秒(角), 太陽が没して後2時間近く西空, 双子座ミ星附近に見え観望に好都合. 但しこれは月始めで29日には内合となり全く見えぬ.

金星. 太陽に甚だ近く全然見る事が出来ぬ.

火星. 光度正1等, 視直径約6秒, 太陽より4時間早く東天に登る.

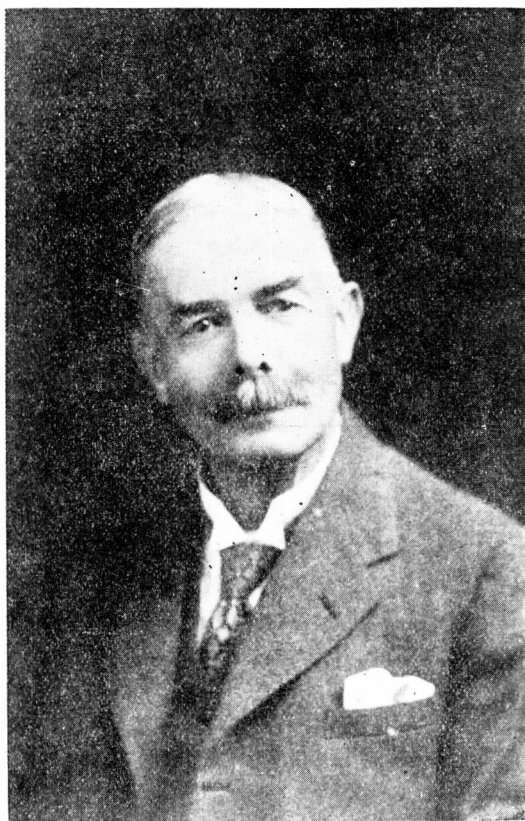
木星. 太陽より2時間半程早く東天に登る. 地球からの距離甚だ遠く8億軒. 光度負2等, 視直径33秒.

土星. 6日衝, 光度0等, 視直径16秒, 環の傾き26度半. 4日午前5時に月と合. 蛇遺座を逆行中.

天王星. 夜半後の出現. 春分点に近く魚座44星附近. 光度6等.

海王星. 光度8等, 宵の星獅子座主星レグアルスの西北2度附近.

Mr. Walter Goodacre



ワルター・グツドエーカ氏

昨年、京都大學の山本教授に「18インチ」の
大反射鏡をゆづつた人、現に大英天文協會
觀測部の「月」の部長である。